

大切な
甲賀市の自然
パートII

甲賀市内の
大切な自然が存在する
地域について紹介します

●第4回●
野洲川の河原

野洲川の河原には、「ヌリ」「ズリンコ」などと呼ばれる、固まりきっていない泥が見られる場所があります。これは約200万年前にあった湖（古琵琶湖）やその周囲の川などにたまった地層で、「古琵琶湖層群」と呼ばれます。

この地層から、いろいろな化石が見つかります。

水口町幸が平付近ではメタセコイアやマツなどの植物化石がたくさん見つかりました。

北内貴から宇田にかけても、イシガイなどの貝、ソウヤシカの足跡、ワニの歯などの化石が見つかりました。これらの化石は、約200万年前の甲賀にもワニがいたりメタセコイアの大木が茂っていたことを教えてくれます。

なお、杣川の河原にも古琵琶湖層群が露出しており、ドブガイな

どの化石が見つかります。甲南から甲賀にかけてのこの地層は、水口より古く、約300万年ほど前のものです。

このような河原の地層は、護岸工事が行われると、コンクリート等に覆われて見えなくなってしまいます。水口から湖南市にかけての野洲川は、地層が大規模に露出する、数少ない場所です。

なお、野洲川の頓宮より上流にも化石のみつかる地層がありますが、これらは古琵琶湖の時代よりも更に古く、約1700万年前の海でたまったものです。

野洲川の河原には、人間が住むよりも前の地域の歴史が隠されています。増水などで地層の露出状況が変わると、また新たな発見があるかもしれません。



▲野洲川で化石を探す



▼ワニの歯の化石
(水口町水口の野洲川で1998年発見)

2月の
休園日

4日(月)、12日(火)
18日(月)、25日(月)

■特別展
「キノコを楽しもう」
開催中

(3月9日(日)まで)

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は甲南町文化協会からお寄せいただきました。

ほおじろ短歌会

- ・爽やかな川の流に身を置きて白鷺一羽餌を狙いおり 今村 緑
- ・朝霧を光らせ蜘蛛は格納庫に収納せし糸せつせと引き出す 鶴飼 洋子
- ・曾孫今スポンジ状の智慧袋フル回転させ発育盛ん 岡崎 照
- ・ひと株のアメジストセージ色深く花穂を揺らす風はむらさき 桂 歌子
- ・喜寿の夫主役つとめし米作り今日新米の袋積み上ぐ 木下 房乃
- ・華やかな花より好みは茶席の一花古稀を迎えて居住い正さむ 北川 浩子
- ・不便だの淋しいだのは贅沢と我が城有ればと友の一言 千葉 和子
- ・深緑の木漏れ日のもと肅々と結縁観頂道場に向かう 八里 いよ
- ・今見ごろ海津大崎桜並木バスで楽しむ湖北の路を 藤田 悦子
- ・子育てを終えて桜の花咲くをゆるり見上ぐる夫の傍へに 堀井 菊野
- ・旅を終え己が住む家に灯を点しここの暮らしに安らぎ覚ゆ 御崎ミサ子
- ・アマリリス紅の花びら幾すじか透かして見える花脈清し 山脇千鶴子
- ・春風と戯るごとく揺れる薔薇手触れば拒む棘の鋭き 村井 君代

次号(3月1日号)は、甲賀町文化協会の予定です。